

# (家さん) 暑熱対策を行いましょう!

## 1 鶏舎を涼しくしましょう!

- 屋根、壁への断熱材の利用
- 屋根に白色系塗料を塗布する
- 屋根への散水
- 遮光ネット等を利用して、直射日光を遮断する
- ブロイラーでは、飼育密度を下げる



## 2 鶏舎内の熱を逃がす

- 扇風機、ダクト送風、スポットエアコンによる送風
  - ➡ 体熱が蓄積される夕刻から夜間にかけての送風が効果的
- 細霧装置による散水
  - ➡ 送風機との併用が効果的、湿度管理に注意が必要!



## 3 給餌は早朝や夜間に行い、常に新鮮な水が飲めるようにしましょう!

- 昼間に絶食、早朝や夜間に給餌
  - ➡ 日中の高温時の飼料摂取による体内発熱量の増加をさけるため

## 暑熱対策具体的事例の紹介

農林水産省パンフレットより

### 牛舎屋根への石灰塗布

#### 【取組の概要】

肉用牛200頭:宮崎県



【塗布面積】 800㎡ (屋根材:ガルバリウム)

【作業人数】 5人

【材料】 石灰(牛舎消毒用)、水、動力噴霧器、電動ドリル、かき混ぜ棒、ポリバケツ(大)

【塗布方法】 石灰を水に溶かして石灰乳を作り、動力噴霧器にて屋根へ散布する

【作業時間】 3時間(実質塗布時間:2時間)

【塗布面積あたりコスト】 33円/㎡

【注意点】 ①石灰乳がダマにならないよう常にかき混ぜる(電動ドリルで攪拌)

②長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する

石灰塗布前後の牛舎内の温度変化

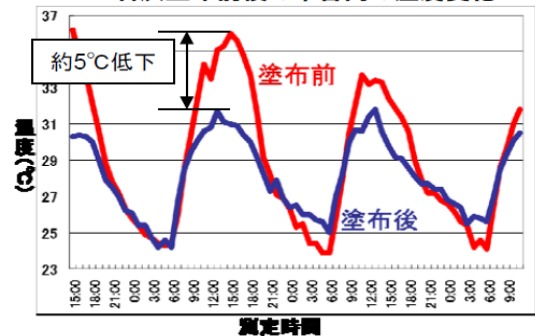
#### 【効果】

○屋根裏温度の変化 約15℃低下

○牛舎内温度の変化 約5℃低下

・夏場の採食量が増えた結果、枝肉重量が増加し、出荷成績の改善につながった

・夏場の飼養管理がしやすくなった



### アカザを利用した鶏舎庇蔭 (ひいん)

#### 【取組の概要】

採卵鶏4500頭:群馬県

○自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、全ての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植

○アカザは成長が早く、夏季には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日影ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易

○自生するアカザを用いるため、低コストで容易

#### ※注意点

鶏舎内の風通しの確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。



【効果】 ○夏季の死亡羽数が激減 実施前(H19年)約700羽

→実施後(H20年)約40羽